2025 年 4 月 21 日

報道関係各位

アルパインマーケティング株式会社
株式会社ゼンリン

アルパインマーケティングとゼンリン 福岡県宗像市の「宗像版公共ライドシェア」実証事業に参画

～国土交通省「令和 7 年度日本版 MaaS 推進・支援事業（観光促進型）」に選定～

アルパインマーケティング株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役：酒井龍哉、以下アルパインマーケティング）と株式会社ゼンリン（本社：福岡県北九州市、代表取締役社長：竹川道郎、以下ゼンリン）は、4 月 21 日（月）より福岡県宗像市にて運行を開始する「宗像版公共ライドシェア」実証事業に参画します。本実証事業は国土交通省「令和 7 年度日本版 MaaS 推進・支援事業（観光促進型）」の対象事業として選定を受け実施するものです。

▲4 月 19 日（土） 宗像市で実施された「宗像版公共ライドシェア」出発式の様子

■「宗像版公共ライドシェア」実証事業について

本実証事業は、地域公共交通の維持と再編を目指す福岡県宗像市の取り組みです。バスやタクシーの運転手不足、それに伴う路線維持の困難さといった地域公共交通の課題が全国で顕在化するなか、宗像市では市内のタクシー会社と連携し、自治体が運営する新たな公共ライドシェアサービス「むなりんく」の運行を開始します。

車両はタクシー会社が保有する遊休タクシーを活用し、運転はタクシー会社のドライバーや国が定めた講習を受講したドライバーが担当します。本実証により、宗像市では交通空白地域における人の移動の効率化や、二次交通の不足による観光周遊の困難さの解消を目指します。

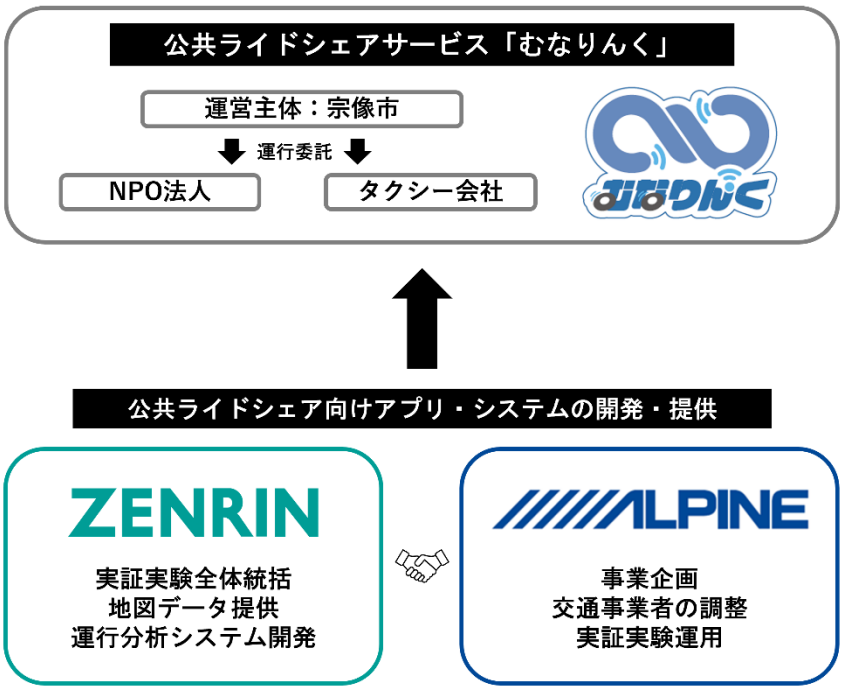
■新たな公共ライドシェアサービス「むなりんく」とは

「むなりんく」は、宗像市内の一定のエリア内において、自宅までの配車依頼や、目的地までの一定料金での移動を可能とする乗合型の公共ライドシェアサービスです。電話で予約でき、将来的には専用のアプリも導入予定です。乗合型とすることでより効率的な輸送を実現します。

▲「むなりんく」サービスロゴ

■アルパインマーケティングとゼンリン　両社の役割

アルパインマーケティングとゼンリンは、それぞれが全国各地の自治体と連携し、人やモノの移動に関する課題解決に向けた取り組みを実施してきました。本事業においてアルパインマーケティングは、顧客（市民）の困りごとやタクシー会社のニーズなどを深く理解し、ソリューションを企画、事業の全体構想と運営サポートの役割を担います。ゼンリンは、これまで多くの自治体や企業と地図ソリューションを通じてまちづくりの課題解決を推進してきたノウハウや知見を活用し、事業の全体統括・地図データ提供・運行分析システム構築の役割を担います。



■公共ライドシェア向けアプリ・システムを開発・提供

本実証事業にあたり、アルパインマーケティングとゼンリンは公共ライドシェア向けアプリ・システムの開発を行います。オンデマンドでの配車予約と配車指示を実現し、ユーザーと事業者の利便性を向上させる「配車アプリ・システム」のほか、車両の移動データ等を可視化する「運行分析システム」の開発も計画しています。ゼンリンの地図データと車両の移動データを重ね合わせることで、利用者の移動傾向やニーズを正確に把握し、地域交通の維持・改善に向けた施策検討を支援します。今後、段階的に本実証事業での導入を進めていきます。

■今後の展望

今回開発する配車アプリ・システムでは、公共ライドシェア・乗合タクシー・タクシーの異なる交通手段の配車をワンストップで実現する機能も実装予定です。宗像市での実証事業を通し、地域公共交通のニーズを広く汲み取ることで、住民・交通事業者・自治体それぞれの課題を解決するまちづくりを支援します。また、アルパインマーケティングとゼンリンは同様の課題を抱える全国の自治体に向け、公共ライドシェア向けアプリ・システムの全国展開を目指します。